



令和5年度 第3号
 常磐野小学校 校長室だより
 令和5年6月15日発行 文責 清川 秀一

学校教育目標
つながり、深まり、未来をつくる子

6月に入り、フラワーロードのアジサイがきれいに咲き始めました。修学旅行や遠足など、学校では様々な行事を行っています。校内行事では1年生を迎える会を4年ぶりに全校集まって、それぞれの学年の出し物をして、1年生の入学をお祝いしました。出し物には学年それぞれの特徴があり、見ていてとても楽しい時間になりました。学校は楽しいところだよ！というメッセージを、1年生が受け取ってくれたのではないかと思います。



さて、本校では「こころの日」という取組をしていて、様々な立場の人のことを考えたり、人権について考えたりする機会を毎月設定しています。取組の一つで、先日行った児童集会の中で、私が児童に向けて話した内容について、知っていただけたらと思います。学校教育目標にあるように、児童が自らの未来をつくって行くためには、大人になるまでに様々な力をつける必要があります。それは、算数ができる、サッカーができる、ピアノが弾けるなどの技能以上に、自分の気持ちをきちんと伝えたり、相手の気持ちを考えたり、約束を守ったり、ねばり強く取り組んだり…。そのようなたくさんの「大人になるための力」が必要で、それが「自立する力」につながります。ほかに下の表のように、人間は社会生活を営む上で、また自己の目標を達成するために、たくさんの力が必要でしょう。もちろん表以外にもたくさんあると思います。しかし、そのような力は外見を見ていてもわからず、人それぞれ得意なところもあれば、苦手なところもあります。教室でみんなと違うことをしている人を見て、「なんでできないの！」「早くやってよ！」というのではなく、優しい声をかけて助けてあげる

といいですね、というのがお話の内容です。自立する力は人によって違うことや、自分と違って相手も大事にして、気持ちを分かろうとすることが大切と伝えました。できない人がいるのは当たり前で、自分もそうであると考え、率先して「考動」してほしいと願っています。

※「考動」は本校スローガンです。

自立する力		
行動	こころ	人とのかわり
じっくり考える	気を付ける・意識する	思いやる・助ける
整える・きれいにする	大切に	伝える・正直に言う
予測する・見通す	決定する	相手の気持ちを考える
正確にする	切りかえる	ゆずる・えんりょする
改善する	集中する	話に耳をかたむける
ルールを守る	がまんする	協力する・参加する
時間を意識する	はりきる・元気をだす	言われたことを実行する
新しいことをする	言葉を飲みこむ	周りを見て合わせる
危険をさける	認める	自分から声をかける
じっとする	感謝する	良いところを取り入れる
冷静に行動する	振り返る・反省する	尊敬する・ほめる
覚えておく	困難を乗り越える	約束を守る
ねばり強くする	ゆるす・受け入れる	あいさつをする